

# 返還遺骨を迎えるカムイノミ、 イチャルパと再埋葬の取材について

浦幌アイヌ協会 会長 差間正樹

〒089-5865 北海道十勝郡浦幌町字厚内189番地  
電話015-578-2246 電子メールmasakishooten@atbb.ne.jp

## 報道機関各位

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当協会はきたる8月19日～20日、北海道大学から祖先の遺骨の返還を受け、故郷の墓地に再埋葬し、カムイノミ（カムイへの祈りの儀式）とイチャルパ（慰霊の儀式）を執りおこないます。大学構内に80年あまりにわたって留め置かれてきたご遺骨の慰霊を最優先とし、儀式の厳粛さを保つために、取材制限を設けさせていただきます。どうぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 返還遺骨を迎えるカムイノミ、再埋葬とイチャルパ

スケジュール（変更される場合があります）

8月19日	9:00	遺骨の確認、出発（北海道大学アイヌ納骨堂）	当協会主催ではありません。
	13:00	カムイノミ（浦幌町浜厚内生活館）	<u>一般の方の参列及び取材はお断りいたします。</u>
	15:30	町営浦幌墓園に遺骨到着、返還引き渡し	取材・撮影いただけます。近くに駐車場はありません。
	16:00	町営浦幌墓園に遺骨を再埋葬	
	20:00	主催者記者会見（浜厚内生活館）	取材・撮影いただけます。
8月20日	10:00	カムイノミ（浜厚内生活館）	<u>当協会関係者のみで執りおこない、立ち入り制限を設けます。制限域外から撮影いただけます。</u>
		イチャルパ	
	11:40	帯広カムイトウポポ保存会による舞踊	一般の方も自由に参列いただけます。取材・撮影いただけます。
	13:30	主催者ごあいさつ	

主催 浦幌アイヌ協会

儀式会場 浦幌町浜厚内生活館 浦幌町字チブネオコッペ1-22 電話015-578-2235

再埋葬地 浦幌町営浦幌墓園 浦幌町字万年89

協力 コタンの会（代表／清水裕二）、北大開示文書研究会（共同代表／清水裕二、殿平善彦）  
アイヌ遺骨返還訴訟弁護団（弁護団長／市川守弘）

## (別記) 会場周辺での取材についてお願い

- 会場にメディアデスクを設けます。お立ち寄りのうえ必ず記帳ください。撮影取材のさいは「撮影内容の利用に関する同意書」を主催者に提出してください。
- 記者章もしくは主催者発行のネームカードを必ず着用してください。
- 儀式や参列者をストロボ/ライトで照らすような撮影はご遠慮ください。
- 会場では主催者スタッフの指示に従ってください。また不明な点はお気軽にお問い合わせください。

## (参考1) アイヌプリの葬送

アイヌ民族の伝統では、墓地はコタン（集落）ごとにつくられ、多くの場合、死者はキナ（ござ）にくるまれて、副葬品とともに土に埋められる。墓には木製のクワ（墓標）が立てられるが、故人の名前は記されない。埋葬が終わると墓地へは立ち入らず、墓参りでなくコタンごとのシンヌラッパ（祖霊祭、イチャルパとも言う）で先祖への供養が行なわれる。

## (参考2) 北海道大学から浦幌アイヌ協会に返還される遺骨について

北海道大学の「アイヌ納骨堂」には、浦幌町内から持ち出された、少なくとも76人分の遺骨が留め置かれています。大半は、1934年（昭和9年）10月下旬、同（帝国）大学医学部解剖学第二講座の児玉作左衛門教授らが同町愛牛（あいうし）地区のアイヌ墓地から持ち去っていったものです。浦幌アイヌ協会による返還請求訴訟が今年3月22日、札幌地裁で和解に達し、被告・北海道大学がこれらの遺骨を当協会に返還することになりました。初回返還分として今回、63人分と人数不明の遺骨、合わせて82箱の返還を受け、再埋葬します。訴訟の経緯、また北海道大学などによるアイヌ墓地発掘と遺骨収集の詳細は、北大開示文書研究会編著『アイヌの遺骨はコタンの土へ』および同研究会ウェブサイトをごらんください。

## (参考3) 支援金を募っています

ゆうちょ銀行振替口座 口座名：浦幌アイヌ協会

口座番号：02750-3-71188

ゆうちょ銀行振替口座 口座名：コタンの会

口座番号：02730-2-102357